



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月28日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所

上場取引所 東名

コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二之夕 裕美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 2020年10月28日

配当支払開始予定日

2020年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-----|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 182,536 | 28.2 | 4,872 | | 3,379 | | 2,612 | |
| 2020年3月期第2四半期 | 254,317 | 2.7 | 14,007 | 5.1 | 13,882 | 14.5 | 9,160 | 12.6 |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 528百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 6,572百万円 (46.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 28.63 | |
| 2020年3月期第2四半期 | 100.39 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 375,438 | 237,357 | 59.8 |
| 2020年3月期 | 378,489 | 241,023 | 60.3 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 224,529百万円 2020年3月期 228,375百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | | 32.00 | | 30.00 | 62.00 |
| 2021年3月期 | | 20.00 | | | |
| 2021年3月期(予想) | | | | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 420,000 | 16.0 | 4,500 | 80.1 | 6,500 | 71.6 | 4,000 | 73.5 | 43.83 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期2Q | 94,234,171 株 | 2020年3月期 | 94,234,171 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 2,960,086 株 | 2020年3月期 | 2,984,471 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期2Q | 91,263,675 株 | 2020年3月期2Q | 91,249,810 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.当第2四半期連結会計期間において、通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正等、剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | P. 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | P. 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | P. 7 |
| (会計方針の変更) | P. 7 |
| (セグメント情報) | P. 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は182,536百万円と、前年同四半期に比べ71,781百万円(△28.2%)の減収となりました。利益につきましては、連結営業損失(△)は4,872百万円、連結経常損失(△)は3,379百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失(△)は2,612百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

客先生産台数の減少などにより、売上高は108,844百万円と、前年同四半期に比べ46,402百万円(△29.9%)の減収となりました。営業損失(△)は、売上高の減少などにより7,923百万円となりました。

(北米)

感染症拡大に伴い主要客先の生産が一定期間停止した結果、客先生産台数が大きく減少いたしました。これにより売上高は37,822百万円と、前年同四半期に比べ14,071百万円(△27.1%)の減収となりました。営業損失(△)は、売上高の減少などにより353百万円となりました。

(アジア)

感染症拡大に伴い一部の主要客先の生産が一定期間停止した結果、客先生産台数が大きく減少いたしました。これにより売上高は51,789百万円と、前年同四半期に比べ16,195百万円(△23.8%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少などにより3,568百万円と、前年同四半期に比べ3,577百万円(△50.1%)の減益となりました。

(その他)

売上高は9,298百万円と、前年同四半期に比べ6,096百万円(△39.6%)の減収となりました。営業損失(△)は、485百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の減少などにより375,438百万円と、前連結会計年度末に比べ、3,051百万円減少いたしました。負債は買掛金の増加などにより138,080百万円と、前連結会計年度末に比べ、614百万円増加いたしました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失(△)の計上による利益剰余金の減少などにより237,357百万円と、前連結会計年度末に比べ、3,666百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年8月21日の公表値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正等、剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 68,512 | 68,064 |
| 受取手形及び売掛金 | 55,856 | 65,168 |
| 電子記録債権 | 13,296 | 12,243 |
| 有価証券 | 2,491 | 2,492 |
| 商品及び製品 | 15,582 | 16,984 |
| 仕掛品 | 23,937 | 24,535 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,882 | 6,991 |
| その他 | 10,408 | 11,053 |
| 貸倒引当金 | △76 | △91 |
| 流動資産合計 | 196,892 | 207,443 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 32,808 | 33,614 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 35,156 | 34,535 |
| その他(純額) | 30,670 | 26,865 |
| 有形固定資産合計 | 98,634 | 95,015 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 2,270 | 2,272 |
| 無形固定資産合計 | 2,270 | 2,272 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 37,508 | 39,614 |
| その他 | 43,290 | 31,205 |
| 貸倒引当金 | △106 | △113 |
| 投資その他の資産合計 | 80,691 | 70,707 |
| 固定資産合計 | 181,597 | 167,995 |
| 資産合計 | 378,489 | 375,438 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 37,521 | 44,136 |
| 電子記録債務 | 9,845 | 7,988 |
| 未払法人税等 | 1,837 | 1,627 |
| 賞与引当金 | 8,878 | 8,155 |
| 製品保証引当金 | 7,837 | 7,785 |
| その他の引当金 | 294 | 107 |
| その他 | 34,189 | 30,984 |
| 流動負債合計 | 100,405 | 100,784 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 331 | 306 |
| 退職給付に係る負債 | 25,329 | 25,556 |
| 資産除去債務 | 73 | 73 |
| その他 | 1,325 | 1,360 |
| 固定負債合計 | 37,060 | 37,296 |
| 負債合計 | 137,466 | 138,080 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 22,856 | 22,856 |
| 資本剰余金 | 25,887 | 25,884 |
| 利益剰余金 | 191,023 | 185,607 |
| 自己株式 | △5,369 | △5,326 |
| 株主資本合計 | 234,397 | 229,022 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,113 | 3,002 |
| 為替換算調整勘定 | △5,783 | △5,978 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,351 | △1,517 |
| その他の包括利益累計額合計 | △6,022 | △4,493 |
| 非支配株主持分 | 12,648 | 12,828 |
| 純資産合計 | 241,023 | 237,357 |
| 負債純資産合計 | 378,489 | 375,438 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 254,317 | 182,536 |
| 売上原価 | 219,773 | 169,332 |
| 売上総利益 | 34,543 | 13,203 |
| 販売費及び一般管理費 | 20,536 | 18,076 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 14,007 | △4,872 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 270 | 106 |
| 受取配当金 | 229 | 219 |
| 持分法による投資利益 | 36 | — |
| 為替差益 | — | 56 |
| 過年度関税等戻入益 | — | 331 |
| 助成金収入 | — | 690 |
| その他 | 379 | 263 |
| 営業外収益合計 | 916 | 1,667 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29 | 41 |
| 持分法による投資損失 | — | 7 |
| 為替差損 | 979 | — |
| その他 | 31 | 125 |
| 営業外費用合計 | 1,040 | 174 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 13,882 | △3,379 |
| 特別利益 | | |
| 製品保証関連損失戻入益 | — | 2,820 |
| 特別利益合計 | — | 2,820 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 13,882 | △559 |
| 法人税等 | 4,174 | 1,595 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 9,708 | △2,154 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 548 | 458 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 9,160 | △2,612 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 9,708 | △2,154 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 546 | 1,931 |
| 為替換算調整勘定 | △3,463 | △128 |
| 退職給付に係る調整額 | △172 | △166 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △47 | △9 |
| その他の包括利益合計 | △3,136 | 1,626 |
| 四半期包括利益 | 6,572 | △528 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,252 | △1,084 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 319 | 556 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

当会計基準の適用による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりであります。なお、営業利益に与える影響は軽微です。

・金型

一定の期間にわたって売上高と売上原価を計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、特定の要件に該当する場合、一時時点で売上高と売上原価を計上しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が1,971百万円増加しております。

・顧客に支払われる対価

従来、売上原価として計上していた一部の費用について、第1四半期連結会計期間より顧客に支払われる対価として、売上高から減額しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が4,953百万円減少しております。

・買戻し契約

一部の有償支給取引について、第1四半期連結会計期間より金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末日において、棚卸資産が1,598百万円、流動資産のその他が140百万円、流動負債のその他が1,738百万円、それぞれ増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 北米 | アジア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 129,436 | 51,591 | 58,035 | 239,063 | 15,253 | 254,317 | - | 254,317 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 25,809 | 302 | 9,948 | 36,060 | 140 | 36,201 | △36,201 | - |
| 計 | 155,246 | 51,893 | 67,984 | 275,124 | 15,394 | 290,518 | △36,201 | 254,317 |
| セグメント利益 | 5,370 | 576 | 7,145 | 13,092 | 863 | 13,956 | 50 | 14,007 |

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額50百万円は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 (会計方針の変更)に記載のとおり第1四半期連結会計期間より「顧客との契約から生じる収益」(ASU第2014-09号)を適用しております。
この結果、従来の方法によった場合と比べて、北米の売上高は、957百万円減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 北米 | アジア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 92,095 | 37,606 | 43,677 | 173,379 | 9,156 | 182,536 | - | 182,536 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16,749 | 216 | 8,111 | 25,077 | 141 | 25,218 | △25,218 | - |
| 計 | 108,844 | 37,822 | 51,789 | 198,456 | 9,298 | 207,754 | △25,218 | 182,536 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △7,923 | △353 | 3,568 | △4,708 | △485 | △5,193 | 320 | △4,872 |

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額320百万円は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
- 4 (会計方針の変更)に記載のとおり第1四半期連結会計期間より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。
この結果、従来の方法によった場合と比べて、日本の売上高は、金型取引について1,971百万円増加し、顧客に支払われる対価について4,953百万円減少しております。なお、営業利益に与える影響は軽微です。